

平成26年度 事業別予算概要

事業名	41535	生活環境保全事務費	予算	会計	1	一環会計	総合計画	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
種別				款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生	実施計画事業	公害防止対策事業、水質汚濁対策事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	1	保険衛生費		基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する	H26実施計画額	3,372 千円	
			2172	目	5	生活環境費		施策	1	生活環境の保全			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	・公害の発生防止と、公害が発生した場合は被害を最小限に食い止める	概要	事業の実施手法(手段)	・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。 ・騒音、振動、悪臭苦情に係る立入検査の実施と、騒音の定期観測調査の実施。
	対象者数	92,097 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施と騒音の観測調査の実施 ・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の啓発							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	水質調査地点数	箇所	目標値	19	19	19	19	
			実績(見込)	19	19	19		
	算出根拠等	達成率(%)	100	100	100			
	活動指標	カワゲラウォッチングの開催数	回	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	1	1	
	算出根拠等	達成率(%)	100	100	100			
	成果指標	カワゲラウォッチングの参加者数	人	目標値	60	60	60	60
				実績(見込)	29	73	65	
	算出根拠等	達成率(%)	48	122	108			
	成果指標	騒音、振動、悪臭苦情の解決件数	回	目標値	42	41	46	-
				実績(見込)	38	37	42	
算出根拠等	解決件数 / (相談件数 + 未解決件数)	達成率(%)	90	90	91			
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・公害に対する市民の意識が高く、公害苦情の件数が増加傾向にあるとともに、長期継続公害苦情もあることから、公害防止の啓発活動を実施する必要がある。 ・水質汚濁防止啓発活動のカワゲラウォッチングは、学校の授業でも取り組まれていることから参加者の減少が隔年でおきているが、継続して実施し、啓発を図る必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・公害苦情に対する市民の意識向上のため、啓発を実施するとともに、公害苦情に対し、適切な対応をとる。 ・水質汚濁防止啓発活動の実施。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・公害防止の効果的な啓発活動を実施すること、及び発生した公害をより迅速に、また、被害最小限となるよう関係機関との連携を強化する。 ・水質汚濁防止啓発活動と公害防止啓発を実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 1,220	1,397	2,870	3,372
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 13	15	31	37
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・悪臭水質等環境調査の実施 ・土壌中放射性物質調査の委託 ・河川水質調査の委託	要求のポイント	・土壌中放射性物質調査、河川水質調査、カワゲラウォッチングの開催	事業実施の課題	・公害等発生抑制の啓発
------	---	---------	----------------------------------	---------	-------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,870	3,372	502	2,870	2,870	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	320	320	0	320	320		
一般財源	2,550	3,052	502	2,550	2,550		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	42200	ごみ収集事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	6		環境・衛生	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る	H26実施計画額	279,970 千円	
	2960			目	2	塵芥処理費		施策	2		収集処理業務の効率化	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・日常生活にともなって生じる一般廃棄物を適正に収集運搬し、快適な市民生活環境を保全する	概要	事業の実施手法(手段)	・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を民間委託により実施する ・不適正処理(不法投棄、違反ごみ等)対策を実施する
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・民間委託による市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬 ・ごみステーション違反ごみの回収 ・不法投棄対策(パトロール、通報による出動等)の実施						
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	ステーションごみ収集日数	日	目標値	257	256	257	258	
活動指標	算出根拠等		ごみ処理基本計画	達成率(%)	100	100	100	
	不法投棄監視パトロール日数	日	目標値	20	50	20	20	
成果指標	算出根拠等		ごみ処理基本計画	達成率(%)	310	140	100	
	家庭系一般廃棄物収集量	t	目標値	18,409	18,302	18,268	18,237	
成果指標	算出根拠等		計量統計	達成率(%)	101	101	100	
	不適正ごみ回収量(ステーション違反ごみ、不法投棄回収ごみ)	t	目標値	3	3	3	3	
補足	算出根拠等		計量統計	達成率(%)	100	100	100	
	算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・さらなる不適正処理対策(委託業者収集時のパトロールの実施、警察など関係機関との連携による不適正処理の未然防止等) ・委託業務の見直し(収集地区ごとの収集量及び収集コストの検証等) ・分別方法についての広報等による啓発
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		・支所担当者及び委託業者職員により、ごみ収集等に関する意見交換会を行い、収集方法等を研究する。
次年度の実施方針	○維持・改善	・ごみの分別と収集方法の検討 (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	267,386	268,595	276,300	279,970
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,866	2,892	3,000	3,040
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・民間委託による市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬業務 ・ごみステーション違反ごみの回収 ・不適正処理対策(パトロール、通報による出動等)の実施	要求のポイント	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理実施計画を策定し収集運搬を実施する。	事業実施の課題	・さらなる不適正処理対策(委託業者収集時のパトロールの実施、警察関係部署との連携強化) ・委託業務見直しの検討(収集エリア、収集量における収集コストの検証)
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		276,300	279,970	3,670	284,200	284,200	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	5,440	5,942	502	6,340	6,340		
	一般財源	270,860	274,028	3,168	277,860	277,860		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	42205	ごみ焼却処理事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
種別				款	4	衛生費		分野	6		環境・衛生	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る	H26実施計画額	148,502 千円	
			2960	目	2	塵芥処理費	施策	2	収集処理業務の効率化			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	・適正な焼却処理の実施により「すみよさ」のある生活環境を確保する	概要	事業の実施手法(手段)	・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を直営により実施する ・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を民間委託により実施する
	対象者数	92,097 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 直営によるごみの焼却処理及び維持管理の実施(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター) 設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査を民間委託により実施 荒城クリーンセンターの解体に向けての設計委託業務 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	ごみ焼却日数(資源リサイクルセンター)	日	目標値	335	341	331	335
				実績(見込)	334	342	339	
		算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	100	100	102	
	活動指標	ごみ焼却日数(久々野クリーンセンター)	日	目標値	118	100	80	80
				実績(見込)	116	115	80	
		算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	98	115	100	
	成果指標	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター排ガス)	ng/m ³	目標値	1以下	1以下	1以下	1以下
				実績(見込)	0.036	0.160	0.005	
		算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター排ガス)	ng/m ³	目標値	5以下	5以下	5以下	5以下
				実績(見込)	0.087	0.240	0.040	
算出根拠等		ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	100	100		
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・コスト削減に向けての取り組み(施設の統廃合等)
--------------------------	--------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨市との委託解消によるコスト削減 荒城クリーンセンター焼却施設の解体工事 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 焼却施設の適正な維持管理を引き続き行うことにより、環境負荷の軽減に取り組む 引き続き適正な維持管理を行いつつ、コスト削減を進める必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	120,219	73,272	193,229	148,502
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,288	789	2,098	1,612
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 直営によるごみ焼却施設の維持管理の実施(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター) 設備の点検及びダイオキシン類などの調査の実施 	要求のポイント	・松ヶ瀬清掃工場解体に要する経費を計上(飛騨市負担金)	事業実施の課題	・コスト削減に向けての取り組み(施設の統廃合の検討)
------	--	---------	-----------------------------	---------	----------------------------

事業費(人件費除)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		193,229	148,502	△ 44,727	148,407	148,407	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 荒城クリーンセンター解体費の減 	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	112,334	63,247	△ 49,087	78,970	78,970		
	一般財源	80,895	85,255	4,360	69,437	69,437		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	42210	ごみ埋立処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生	実施計画事業	ごみ埋立処理事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る	H26実施計画額	54,843 千円		
			2960	目	2	塵芥処理費	施策	2	収集処理業務の効率化				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	・適正な埋立処理の実施により「すみよさ」のある生活環境を確保する	概要	事業の実施手法(手段)	・廃棄物の埋立処理事業を民間委託により実施する ・汚水処理施設の維持管理を直営により実施する
	対象者数	92,097 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業の実施 設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査を民間委託により実施 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	埋立作業日数	日	目標値	311	308	309	309
				実績(見込)	311	308	309	
	成果指標	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター第1次埋立地処理水)	pg/ℓ	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下
				実績(見込)	0.006	0.005	0.006	
	成果指標	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター第2次埋立地処理水)	pg/ℓ	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下
				実績(見込)	0.025	0.020	0.005	
	成果指標	ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター埋立地処理水)	pg/ℓ	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下
				実績(見込)	0.001	0.018	0.000	
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・埋立地の延命化対策(埋立廃棄物の細粒化及び細分化、残容量測定等による残余年数の把握等)
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立業者に対する埋立方法の指導強化 ・破砕機の修繕 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立施設の適正な維持管理を引き続き行うことにより、環境負荷の軽減に取り組む ・引き続き適正な維持管理を行いつつ、コスト削減を進める必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	36,349	40,214	44,800
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	390	433	486
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業の実施 ・設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査の実施 ・埋立処分地残容量の測定 	要求のポイント	・埋立関連施設修繕等の増	事業実施の課題	・埋立処分地の延命化対策(埋立廃棄物の細粒化及び細分化)
------	---	---------	--------------	---------	------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		44,800	54,843	10,043	45,040	45,040	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	44,254	54,843	10,589	36,831	36,831		
	一般財源	546	0	△ 546	8,209	8,209		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	42215	ごみ減量化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
種別				款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生	実施計画事業	ごみ減量化意識高揚事業、生ごみ堆肥化設備設置事業補助	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る	H26実施計画額	13,778 千円		
			2172	目	2	塵芥処理費	施策	1	ごみの減量化や資源化				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	・ごみ処理券(シール)制や生ごみ堆肥化装置の普及促進により、ごみの減量化を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・ごみ処理券回収奨励金の交付 ・生ごみ堆肥化装置設置補助の交付 ・ごみの出し方と分別、及び資源化の啓発
	対象者数	92,097 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理券回収奨励金の交付 ・生ごみ堆肥化装置設置補助の交付 ・ごみの出し方と分別、及び資源化の啓発 						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	ごみ処理券回収実施団体数	団体	目標値	70	70	70	70
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	67	67	64	
	ごみ処理券回収枚数	枚	達成率(%)	96	96	91	
成果指標	算出根拠等		目標値	300,000	300,000	300,000	300,000
	ごみ処理券回収枚数	枚	実績(見込)	363,739	365,780	345,053	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	121	122	115	
	生ごみ堆肥化装置設置補助件数	件	目標値	74	74	74	100
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	27	20	20	
	家庭系一般廃棄物収集量目標値に対する増減	t	達成率(%)	36	27	27	
補足	算出根拠等		目標値	18,409	18,302	18,268	18,237
	ごみ処理券回収事業によって、ごみ処理券をできる限り使用しない取り組みが定着してきた ・ごみの出し方・分別について、依然として間違った出し方がある。		実績(見込)	18,509	18,542	18,319	
	算出根拠等		達成率(%)	101	101	100	
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化装置設置補助件数が減少しているため、装置の効果を改めて啓発することが必要である。 ・家庭系一般廃棄物収集量が増加傾向にあるため、ごみの分け方・出し方に対する啓発が必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分け方・出し方の全戸配布による周知啓発の実施。 ・生ごみ堆肥化装置設置補助の啓発の実施。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	
	拡大	・ごみの減量化に繋がる「生ごみ堆肥化装置」の助成制度の啓発
	縮小	・ごみの分別方法の周知啓発
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	
	拡大	・家庭系一般廃棄物量が増加傾向にあることから、ごみ排出の現状を分析し今後の対応に繋げていく必要がある。
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	11,979	11,820	13,800	13,778
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	128	127	150	150
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理券回収奨励金の交付 ・生ごみ堆肥化装置設置に対する助成 ・ごみの分別と出し方及び資源化の啓発 	要求のポイント	・生ごみ堆肥化装置設置促進	事業実施の課題	・家庭からの可燃ごみの減量対策
------	---	---------	---------------	---------	-----------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	13,800	13,778	△ 22	13,850	13,850	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	13,800	13,778	△ 22	13,850	13,850		
一般財源	0	0	0	0	0		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	42220	ごみ資源化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	6		環境・衛生	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る	H26実施計画額	131,946 千円	
	2960			目	2	塵芥処理費		施策	1			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・一般廃棄物の資源化によるごみの減量と、資源の循環を啓発する	概要	事業の実施手法(手段)	・容器包装及びその他資源化できるごみの集団回収への奨励 ・資源ごみの収集運搬選別及び容器リサイクル施設での選別
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・ごみ選別委託、拠点集積所管理の委託 ・資源回収事業での奨励金 86団体						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	拠点集積所での回収日	日	目標値	51	52	52	52
		実績(見込)	51	52	52			
	成果指標	算出根拠等	分別収集計画	達成率(%)	100	100	100	
		集団資源回収での回収量	t	目標値	2,650	2,644	2,639	2,635
	実績(見込)	2,490	2,317	2,106				
	成果指標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	94	88	80	
		拠点集積所での回収量	t	目標値	2,478	2,472	2,468	2,463
	実績(見込)	2,274	1,808	1,667				
	成果指標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	92	73	68	
		資源ごみ資源化量	t	目標値	3,719	3,741	3,730	3,719
	実績(見込)	3,277	3,289	3,284				
成果指標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	88	88	88		
	資源ごみ資源化率	%	目標値	27.7	27.9	28.0	28.1	
実績(見込)	25.4	23.3	22.0					
補足	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	92	84	79		
	・民間事業により資源回収がなされたことにより、拠点集積所の回収量が減少している。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・ごみの分け方・ごみの資源化への意識高揚を図り、焼却・埋立ごみを減少させていく必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		・効果ある小型家電の資源化を行うため、回収品目と回収方法を試行する。 ・施設見学、出前講座等により、市民に対してごみの分別とリサイクルへの継続した啓発を図っている。
次年度の実施方針	○維持・改善	新たに小型家電の資源化の実施と、市民、集団資源回収団体への啓発を実施するなど、更に資源化意識の高揚及び資源化を図る。 (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	100,411	96,669	119,900	131,946
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,076	1,041	1,302	1,433
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・廃棄物の選別回収業務の委託 ・拠点集積所管理業務の委託 ・資源回収事業に対する奨励金	要求のポイント	・小型家電リサイクル法に対応するための経費を計上 ・PCB廃棄物の処理に要する経費を計上	事業実施の課題	・市民、集団資源回収団体への啓発を徹底する
------	---	---------	---	---------	-----------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		119,900	131,946	12,046	110,300	110,300	・積算内容を精査 ・低濃度PCB廃棄物の処分費を計上	・財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	15,300	12,358	△ 2,942	15,840	15,840		
	一般財源	104,600	119,588	14,988	94,460	94,460		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	42225	ごみ焼却施設保守事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	6		環境・衛生	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る	H26実施計画額	128,672	千円
				2960	目	2		塵芥処理費	施策		2・3	収集処理業務の効率化・焼却施設の整備

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・焼却施設の保守点検及び設備の更新等を定期的に行い、維持管理を適正に行う	概要	事業の実施手法(手段)	・長期修繕計画に基づき、資源リサイクルセンター及び久々野クリーンセンターごみ焼却施設の定期点検整備委託及び設備更新工事等を実施する
	対象者数	92,097					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・資源リサイクルセンターごみ焼却施設の定期点検整備委託の実施 ・久々野クリーンセンターごみ焼却施設の定期点検整備委託の実施							
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		ごみ焼却日数(資源リサイクルセンター)	日	目標値	335	341	331	335	
				実績(見込)	334	342	339		
		算出根拠等		ごみ処理基本計画	達成率(%)	100	100	102	
		ごみ焼却日数(久々野クリーンセンター)	日	目標値	118	100	80	80	
				実績(見込)	116	115	80		
	算出根拠等		ごみ処理基本計画	達成率(%)	98	115	100		
	成果指標	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター排ガス)	ng/m ³	目標値	1以下	1以下	1以下	1以下	
				実績(見込)	0.036	0.160	0.005		
				達成率(%)	100	100	100		
		ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター排ガス)	ng/m ³	目標値	5以下	5以下	5以下	5以下	
				実績(見込)	0.087	0.240	0.040		
達成率(%)				100	100	100			
算出根拠等		ダイオキシン測定結果	達成率(%)						
算出根拠等			達成率(%)						
算出根拠等			達成率(%)						
補足	ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・点検結果をふまえた修繕計画の見直しによる施設の最適な維持管理
--------------------------	---------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		・ごみ量の増加対応にともなう受入設備更新などの施設整備
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・焼却施設の定期点検整備を引き続き行うことにより、適正な維持管理に取り組む (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善		
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	278,485	114,022	115,000	128,672
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,984	1,228	1,249	1,397
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・資源リサイクルセンターごみ焼却施設の保守点検 ・久々野クリーンセンターごみ焼却施設の保守点検	要求のポイント	・長期修繕計画に基づく焼却施設の維持管理	事業実施の課題	・設備更新による効果の検証と維持計画の見直しによる施設の適正な維持管理
------	--	---------	----------------------	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		115,000	128,672	13,672	115,000	115,000	・実施計画を基に積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	115,000	128,672	13,672	115,000	115,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	42235	清掃関係事務費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	6		
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	基本施策			実施計画事業	H26実施計画額
	2172			目	2	塵芥処理費					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・ごみ処理施設の安全な管理運営を行う	概要	事業の実施手法(手段)	・資源リサイクルセンターの夜間警備委託の実施 ・料金徴収システムの保守点検業務の実施
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・資源リサイクルセンターの夜間警備委託の実施 ・料金徴収システムの保守点検業務の実施						
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	資源リサイクルセンター夜間警備委託の実施		月	目標値	12	12	12	12
算出根拠等				実績(見込)	12	12	12	
算出根拠等				達成率(%)	100	100	100	
活動指標	料金徴収システムの保守点検実施回数		回	目標値	2	2	2	2
	算出根拠等				実績(見込)	2	2	2
算出根拠等				達成率(%)	100	100	100	
成果面				目標値				
	算出根拠等				実績(見込)			
算出根拠等				達成率(%)				
補足				目標値				
	算出根拠等				実績(見込)			
算出根拠等				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・ごみ処理施設へのごみ搬入量に対する料金徴収とデータ管理システムが正常に稼働するよう、保守点検を実施し管理運営を行う必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		・料金徴収システムの正常稼働のため、システム及び機器類の保守点検整備を行う。
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・ごみ処理施設の夜間警備を行い安全な管理と、料金徴収システムを正常運用するため適正な維持管理を実施する。 (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善		
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	7,501	7,666	11,693
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	80	83	127
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・資源リサイクルセンターの安全な管理を行うための夜間警備委託を実施する ・料金徴収システムの保守点検を実施する	要求のポイント	事業実施の課題	・ごみ処理施設の安全と、適正な管理運営を維持する
------	--	---------	---------	--------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		11,693	12,436	743	11,193	11,193	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	10	6	△4	10	10		
	その他			0				
	一般財源	11,683	12,430	747	11,183	11,183		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	42250	粗大ごみ再利用化事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生		実施計画事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費		基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る	H26実施計画額	3,904 千円	
				目	2	塵芥処理費		施策	1	ごみの減量化や資源化			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・排出された粗大ごみを再利用化し、リフォームフェアーによるごみの減量化と資源化を高める	概要	事業の実施手法(手段)	・粗大ごみのリフォーム ・リフォームフェアーの開催
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・リフォーム製品フェアーの開催(支所開催含む) 20回							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	リフォームフェアー開催回数	回	目標値	15	20	20	20
				実績(見込)	15	20	20	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	リフォームフェアー応募者数	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績(見込)	1,956	1,637	1,612	
	算出根拠等			達成率(%)	65	55	54	
	成果指標	リフォームフェアー販売個数	個	目標値	600	600	600	600
				実績(見込)	562	465	802	
	算出根拠等			達成率(%)	94	78	134	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足	・平成24年度から開催回数を増やしているが、応募者数販売個数とも減少傾向にある。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・排出された粗大ごみの再利用化は、品種・数量とも限りがあり応募者も特定されてしまい減少傾向にある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		・全支所地域でリフォーム製品フェアーを開催し事業活動を広めてゆくとともに、「おもちゃ病院」と協同し再利用製品の品種を増やし利用者の増を図る。
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・全支所地域でリフォーム製品フェアーを開催し事業活動を広めてゆくとともに、「おもちゃ病院」と協同開催することにより、再利用製品の品種を増やし利用者の拡大を図る。 (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	○ 維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,660	3,608	3,910	3,904
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	39	39	42	42
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・粗大ごみの再利用によるごみの減量化 ・リフォーム製品フェアの開催	要求のポイント	事業実施の課題	・PL法(製造物責任法)を遵守した自転車リフォームの検討
------	--------------------------------------	---------	---------	------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,910	3,904	△6	3,910	3,910	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	700	300	△400	720	720		
	一般財源	3,210	3,604	394	3,190	3,190		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	42255	発砲スチロール再資源化事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生		実施計画事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る	H26実施計画額	2,975 千円		
	2960			目	2	塵芥処理費		施策	1		ごみの減量化や資源化		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・日常生活に伴って生じる資源ごみを再資源化することにより、ごみの減量化と資源循環型社会の実現を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・発砲スチロールの資源ごみを収集運搬し、減容機で中間処理し再資源化する
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・発砲スチロールの収集運搬、減容委託							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	発砲スチロールの回収日数	日	目標値	362	360	360	361
				実績(見込)	362	360	360	
	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	100	100	100	
				目標値	14	14	14	14
	成果指標	発砲スチロール収集搬入量	t	実績(見込)	14	14	14	
				達成率(%)	100	100	100	
	算出根拠等	ごみ処理基本計画		目標値	14	14	14	14
				実績(見込)	14	14	14	
	成果指標	発砲スチロール資源化量	t	達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	算出根拠等	ごみ処理基本計画		実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
目標値								
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・市民に対して、引き続き資源ごみの分別に対する啓発が必要である。
--------------------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		・発砲スチロールの資源化啓発を継続し、資源化によるごみの減量化を図っている。
次年度の実施方針	○ 維持・改善	引き続き、発砲スチロールの資源化啓発を継続し、資源化によるごみの減量化を図る。(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	2,659	2,669	3,080	2,975
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	28	29	33	32
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・発砲スチロールの収集運搬、減容処理委託	要求のポイント	・日常生活から出される発砲スチロールの再資源化	事業実施の課題	・発砲スチロールの分別資源化の啓発
------	----------------------	---------	-------------------------	---------	-------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,080	2,975	△ 105	3,080	3,080	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,080	2,975	△ 105	3,080	3,080		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	42260	容器包装廃棄物再資源化事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生		実施計画事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	H26実施計画額	基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る	52,531 千円		
	2960	目	2	塵芥処理費	施策	1		ごみの減量化や資源化					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか (意図)	・日常生活から分別排出される容器包装を適正に資源化し、資源の循環型を啓発する	概要	事業の実施 手法(手段)	・分別収集された容器包装を選別圧縮し、再資源化施設へ搬出し資源化する
	対象者数					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・プラスチック製容器包装、紙製容器包装の再資源化委託							
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指 標	プラスチック製容器包装収集及び回収日数	日	目標値	311	308	308	309
				実績(見込)	311	308	308	
	算出根拠等		分別収集計画	達成率(%)	100	100	100	
	活動 指 標	紙製容器包装収集及び回収日数	日	目標値	311	308	308	309
				実績(見込)	311	308	308	
	算出根拠等		分別収集計画	達成率(%)	100	100	100	
	成果 指 標	プラスチック製容器包装収集量	t	目標値	651	651	652	650
				実績(見込)	694	685	671	
	算出根拠等		分別収集計画	達成率(%)	107	105	103	
	成果 指 標	紙製容器包装収集量	t	目標値	621	622	623	620
				実績(見込)	624	606	586	
算出根拠等		分別収集計画	達成率(%)	100	97	94		
成果 指 標	プラスチック製容器包装資源化量	t	目標値	651	651	652	650	
			実績(見込)	622	629	621		
算出根拠等		分別収集計画	達成率(%)	96	97	95		
成果 指 標	紙製容器包装資源化量	t	目標値	621	622	623	620	
			実績(見込)	598	573	559		
算出根拠等		分別収集計画	達成率(%)	96	92	90		
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・市民に対して、引き続き、資源ごみの分別に対する啓発が必要である。
----------------------------------	-----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況		・収集運搬された容器包装の適正な再商品化を継続し、ごみの減量化を図る。
次年度 の実 施 方 針	○ 維持・改善	拡大
		縮小
	○ 維持・改善	拡大
	縮小	引き続き、収集運搬された容器包装の適正な再商品化を継続し、ごみの減量化を図る。
	○ 維持・改善	拡大
	縮小	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	43,985	43,343	52,400
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	471	467	569
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・プラスチック製容器包装、紙製容器包装の再資源化委託	要求の ポイント	・日常生活から出される容器包装の再資源化	事業 実 施 の 課 題	・容器包装の分別資源化の啓発
------	----------------------------	-------------	----------------------	-----------------------------	----------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		52,400	52,531	131	52,400	52,400	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	52,400	52,531	131	52,400	52,400		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	42280	ごみ処理施設建設事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生		実施計画事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	H26実施計画額	基本施策	2	資源循環社会の実現を図る	49,109 千円		
	2960		目	2	塵芥処理費	施策		3	新焼却施設の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	新ごみ処理施設建設候補地を決定し、地元同意を得て、市民や議会に情報を発信する。さらに、市民を含む検討委員会にて施設の建設方針を協議しながら建設を推進する。	概要	事業の実施手法(手段)	建設候補地の決定後、地元並びに地権者の同意を得て、候補地の測量及び地質調査業務を委託する。
	対象者数					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	ごみ処理施設整備基礎調査(候補地選定調査)実施 ごみ処理施設に関する市民説明会開催(H25.1月～2月)								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	ごみ処理施設に関する市民説明会の開催回数		回	目標値		5		
		実績(見込)					5		
		算出根拠等			達成率(%)			100	
	活動指標	ごみ処理施設に関する市民説明会への参加者		人	目標値		130		
		実績(見込)					133		
		算出根拠等			達成率(%)			102	
	活動指標	ごみ処理施設建設に関する地元町内説明会の開催回数		回	目標値			4	
		実績(見込)						4	
		算出根拠等			達成率(%)			100	
	活動指標	ごみ処理施設建設検討委員会の開催回数		回	目標値				2
		実績(見込)							
算出根拠等			達成率(%)						
補足				目標値					
				実績(見込)					
	算出根拠等			達成率(%)					
これまでに、候補地を選定のため必要な基礎調査、比較検討を実施している。									

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・今年度中に新ごみ処理施設の建設候補地を選定し、計画の段階をステップアップさせる必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	今年度中に新ごみ処理施設の建設候補地を選定する。	
次年度の実施方針	維持・改善	新ごみ処理施設建設に向けて、環境影響調査並びに発注準備を継続する。
	<input checked="" type="radio"/> 拡大	
	<input type="radio"/> 縮小	
	廃止検討	(担当課評価に同じ)
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	
	<input type="radio"/> 拡大	
二次評価	<input type="radio"/> 縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,045	3,455	10,510	49,109
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	33	37	114	533
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	新ごみ処理施設建設に係る、基本設計、生活環境影響調査等の業務	要求のポイント	新ごみ処理施設建設に向けた環境調査等の実施	事業実施の課題	ごみの焼却に伴って発生する熱エネルギーの有効活用方法の検討
------	--------------------------------	---------	-----------------------	---------	-------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,510	49,109	38,599	5,410	5,410	・事業内容を精査 ・基本設計、生活環境調査等に着手できないため、予算計上を見送る	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	10,510	49,109	38,599	5,410	5,410		